



金城学院大書道部が書いた作品―瀬戸市で

## 新時代 書で花添える

瀬戸 商店街で金城学院大生

瀬戸市中心部の銀座通り、せと末広町、中央通の各商店街を中心に1日、金城学院大書道部の書道パフォーマンスなど「令和」を祝う催しが開かれた。

三つの商店街と瀬戸まちづくり株式会社が主催。パフォーマンスは記念橋北側の「青の広場」と、せと末広町商店街で、同部の5人が披露した。縦2.4m、横4.4mの紙に各商店街からのメッセージを

記した後、中心に「令和」と書いた。作品はせと末広町商店街の西側入り口に飾る。

部長の3年、杉田帆南さん(20)は「商店街の皆さんの思いを込めて書いた。新しい時代にいいパフォーマンスができた」と話した。

「れ・い・わ」と声を上げながらのちんどんパレードや、来場者の「書き初め」などもあった。

6日まで各商店街を回るスタンプラリーがある。先着順で「令和」と書かれた茶わんなどがもらえる。(菅谷仁志)

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。  
2019年5月9日 中日新聞社より